

日本臨床検査専門医会

平成 24 年度第二回全国幹事会議事録

平成 24 年 3 月 23 日

日本臨床検査専門医会 平成 24 年度第二回全国幹事会議事録

開催日時：平成 24 年 3 月 23 日（金）14 時 30 分～16 時 30 分

開催場所：国際ホテル宇部 2 階 クリスタル

出席者：佐守 友博会長、木村 聡、小柴 賢洋各副会長、
菊池 春人、佐藤 尚武、東條 尚子、渡邊 卓各常任幹事、
尾崎由基男、北島 勲、幸村 近、清水 力、杉浦 哲朗、
諏訪部 章、田窪 孝行、藤原 久美、松永 彰、宮地 勇人、
村上 純子、盛田 俊介各全国幹事、
高橋 伯夫、土屋 達行各監事

欠席者：池田 均、下 正宗、米山 彰子各常任幹事、
安東由喜雄、大谷 慎一、小田桐恵美、河野 誠司、日野田裕治、
舩渡 忠男、松尾 収二、三井田 孝各全国幹事、

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、佐守 友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

冒頭、第 22 回春季大会大会長 日野田裕治教授に代わり、事務局担当の末広 寛先生より挨拶があったのち、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 松永 彰、村上 純子各全国幹事

第二号議案 第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、第 59 回日本臨床検査医学会学術集会会期中に開催予定の第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について決定する必要がある旨を述べた。演者として佐守 友博会長が自薦し、議長がその賛否を諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。よって議長は、下記の者を第 41 回日本臨床検査専門医会総会における講演会の演者とするに承認可決された旨を宣した。

第 41 回総会における講演会の演者 佐守 友博 会長

なお、佐守 友博会長より、第 59 回日本臨床検査医学会学術集会において、当会との共催シンポジウム（90 分予定）を企画することになったと報告があった。このシンポジウムを、小柴 賢洋、木村 聡両副会長が企画、立案することについて、議長がその賛否を諮ったところ、満場一致をもって承認可決された。なお、木村 聡副会長から、「企業からみてどんな臨床検査専門医を必要と考えているか」、「サブスペシャリティーを学べる場の提供」を案として検討する予定である旨の説明があった。

第三号議案 今年度の活動予定について

佐守 友博会長より、今年度の活動として、関連団体等との関係強化、委員会活動の活性化、会則の改定、ノベルティ作成などの広報活動を行っていきたい、これらの活動に必要な経費は積極的に支出していききたいとの説明があった。

これに対し、以下の意見があった。

高橋 伯夫監事：会員を増やす方向に支出してはどうか。会計的には年間 200 万円から 300 万円支出が増加したら、数年で底をついてしまう。

北島 勲全国幹事：会員を増やす方向あるいは渉外・広報活動に重みを付けるなど予算の方向性をはっきりしてはどうか。

土屋 達行監事：予算は増収見込み等将来のことを考えて、計画的に施行すべきである。数年をめどに法人化も視野に入れる必要がある。

また、広報活動の一環として、役員交代通知を非関連団体はじめ広く発送する案については、その書式や送付先に関して様々な意見があったため、事前に書式原案を幹事間で確認したほうがよいとの意見が出され、原案が出来次第回覧することとした。

予算に含まれない経費が新たに発生する場合は、幹事会で審議することを前提に、第三号議案は承認された。

第四号議案 ホームページのサーバ移転について

議長は、ホームページのサーバ移転について、その詳細を東條 尚子庶務・会計幹事に説明させた。ホームページをアップしているレンタルサーバの容量が不足する事態となったため、サーバを移転し容量増設をしたい旨を説明し、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

第五号議案 本会から選出する臨床検査振興協議会の理事について

佐守 友博会長より、本会より選出する臨床検査振興協議会の理事は、1月1日以降、今年度末まで（臨床検査振興協議会の年度は3月31日まで）は、渡辺 清明前会長に引き続き務めていただいているが、平成24年4月以降の延長について、24年11月までとするか25年3月末とするかを諮りたい旨提案があった。

これに対し、高橋 伯夫監事より、渡辺 清明前会長の臨床検査振興協議会における功績はきわめて高く、余人をもって代えがたいので、年度の途中ではなく次年度末まで（平成25年3月31日まで）延長するのが妥当ではないかとの意見があり、議長がその賛否を諮ったところ、満場一致をもってこれに賛成した。よって議長は、渡辺 清明前会長の臨床検査振興協議会理事としての任期を平成25年3月31日まで延長することについて承認可決された旨を宣した。

佐守 友博会長より、臨床検査振興協議会への理事の選出は、日本臨床検査専門医会から1名、日本臨床検査医学会から4名となっているが、これを、本会から2名、日本臨床検査医学会から3名に変更するよう、日本臨床検査医学会に提案したい旨の説明があった。これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

報告事項

1. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

池田 均情報・出版委員長が欠席のため、代わりに東條 尚子庶務・会計幹事より報告があった。LabCP（30巻1号）は、特集「臨床検査に基づく院内感染対策活動」ならびに「R-CPC」とし、6月の発刊を予定している。また、JACLaP News、WIREは順調に発刊している。日本衛生検査所協会誌「ラボ」には、平成23年4月から2年間の予定で「検査を知る」を掲載中である旨の報告があった。

② 教育研修委員会

菊池 春人委員長より、平成24年度の生涯教育講演会、教育セミナーの開催予定について以下の報告があった。

記

第2回生涯教育講演会

開催日時：平成24年3月23日（金）

開催場所：国際ホテル宇部

講演内容：

1) 「震災・原発事故と対応」

福島県立医科大学感染制御・臨床検査医学 今福 裕司先生

2) 「乳腺病変における針生検と細胞診断の現状と問題点」

日本医科大学付属病院病理部 土屋 眞一先生

第 80 回教育セミナー（講義形式セミナー）

開催日時：平成 24 年 4 月 29 日（日）

開催場所：東京医科歯科大学

第 81 回教育セミナー（実習形式セミナー）

開催日時：平成 24 年 5 月 20 日（日）

開催場所：自治医科大学

木村 聡副会長より、Q&A 形式、スライドセミナー形式などにより、サブスペシャリティを学べる機会を企画してもらいたいとの意見があった。これに対し、菊池 春人委員長より、人が集まりやすい時、たとえば日本臨床検査医学会学術集会などで、テーマを絞って開催するなどが考えられるので、今後検討したい旨の説明があった。

③ 資格審査・会則改定委員会

渡邊 卓委員長より、以下の説明があった。本会の会則は昭和 57 年に制定され、以降改定が繰り返されてきたが、会員、会費、役員等の規定に混乱している部分がみられるため、見直しを図りたい。第 2 回総会での審議・承認を目標に案を作成するものとした。第一回委員会は平成 24 年 3 月 24 日（土）に開催の予定である。

④ 渉外・広報委員会

木村 聡委員長より、以下の報告があった。第 29 回臨床検査振興セミナーは、「臨床検査の世界戦略」をテーマとして、前半は「中国の医療事情と臨床検査の動向」、「欧米有力企業における臨床検査専門医の役割」についての講演、後半は「平成 24 年度診療報酬改定」についての講演を企画している。現在、演者に交渉中であるが、新興国において活躍中で演者にふさわしい方を推薦いただきたい、との説明があった。

⑤ 保険点数委員会

佐藤 尚武委員長より平成 24 年度診療報酬改定における、本会からの提案書の採択状況について以下の報告があった。本会からの提案は、医療技術評価分化会でも高く評価され、提案 12 項目のうち 10 項目で増点が認められており、当会の意見が反映される結果が得られた。

記

日本臨床検査専門医会からの提案書における医療技術評価分化会での評価（〔 〕内）と診療報酬の採択状況

○：優先度が高い

△：今回改定では対応しない

×：医療技術評価分化会における評価対象外

日本臨床検査専門医会からの提案書

1. 未収載項目

(ア)生理機能検査管理加算 〔△〕

2. 既収載項目

(ア)血液採取 〔○〕 増点

(イ)末梢血液像 〔○〕 鏡検法：増点，機械法：減点

(ウ)尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定 〔○〕 鏡検法：増点，FCM法：減点

(エ)染色体検査 〔○〕 増点

(オ)悪性腫瘍遺伝子検査 〔○〕 増点

(カ)時間外緊急院内検査管理加算 〔△〕

(キ)血液細胞核酸増幅同検査 〔○〕 増点

(ク)免疫関連遺伝子再構成 〔○〕 増点

(ケ)UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型 〔○〕 増点

(コ)WT 1 mRNA 核酸増幅検査 〔○〕 増点

(サ)CK19mRNA 〔○〕 増点

以上

宮地 勇人全国幹事より、評価で△がついたものは、今後どうなるのかとの意見があった。「生理機能検査管理加算」に対し、どういうコメントが付いたのかを確認し、次回に向け、戦略を練った方がよい。

2. 専門医数増加方策検討WG

三宅 紀子委員長に代わり、木村 聡副会長から以下の報告があった。
杉本 一博委員が辞任したため、藤原 久美全国幹事に委員を委嘱した。本会のホームページを有効に利用して、臨床検査専門医の知名度拡大を目的とした臨床検査専門医の仕事の紹介や、専門医の受験を考えている医師にも役立つ練習問題の掲示等を検討したい。本日、第一回のWG会議を開催し、ホームページに掲載する臨床検査専門医のロールモデル紹介Q & A作成等について具体的な検討を予定している。

3. 日本臨床検査医学会連絡事項

佐守 友博会長より、日本臨床検査医学会から選出の臨床検査振興協議会理事は、村田 満理事長、安東由喜雄副理事長、矢富 裕、前川 真人各常任理事の4名に決定したと報告があった。

4. 臨床検査振興協議会連絡事項

佐守 友博会長より、2月23日に開催された定例理事会において決定された、平成24年度の理事長、委員長人事について報告があった。また、広報委員会は、会員団体が合同で広報活動を行うこととなり、各団体から2名の委員が参加することとなった。当会からは、木村 聡副会長と他1名が参加するものとしたいと説明があった。

5. 第23回春季大会について

大会長の渡邊 卓常任幹事より、会員の親睦や情報交換はかるため、開催地を熱海に設定する方向で検討中である旨の報告があった。

6. 会員からの提案について

議長より、会員から、検査専門医資格の更新基準に日常業務への一定の参加を義務付けること、学生にもっと時間をかけて検査の現場を見学させることの意義、検査関連図書の販売方法、白血球分画、網赤血球数、タンパク分画の絶対値の基準範囲策定についてよせられた意見が説明され、これについて意見が交換された。

宮地 勇人全国幹事より、24年度診療報酬改定で新設となった「骨髄像診断加算」、「感染防止対策加算」に関して、検査専門医の日常業務におけるインセ

ンチップ付与を通して、人材育成や会員リクルートの絶好の機会として捉え、専門医会としても情報交換と議論をして戴きたい旨、要望がなされた。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 24 年 4 月 20 日

松 永 彰

平成 24 年 4 月 27 日

村 上 純 子